

学校2学期制を 新たな3学期制へ

伊川 京子 議員



2学期制の見直しについて、市長は3月議会で「3学期制に変更できないか、総合教育会議の中で積極的に発言していく」と発言された。これを受けて、教育委員会では何か動きがあったのか。教育振興基本計画のスケジュールから見ると、次の見直しは平成32年度からということになるが、どのように考えているのか。

A 教育委員会においては、2学期制の今後のあり方について、継続して協議することを申し合わせた。また、7月の総合教育会議において、市長と教育委員との協議調整を行う予定であり、2学期制の検証に向けたタイムスケジュールを速やかに策定し、児童生徒等を対象としたアンケートの実施に向け内容等の検討を進めたい。また、地域や学識経験者等を交えた（仮称）大村市2学期制検討委員会を組織し、アンケートの分析結果に基づく提言等を踏まえた上で、3学期制への移行の是非を含め、今後の学期制のあり方について結論を出したい。

都市整備

新工業団地に向かう 道路整備計画について

野島 進吾 議員



現在、オフィスパーク大村と大村ハイテクパークには約2,500人の方が通勤されており、上諏訪6差路交差点や大村IC付近、坂口町のコンビニ付近は混雑している。このような中、新工業団地の分譲開始に伴い、多くの工事車両が通行することが予測される。完成後の安全対策も含め、道路の整備を考えていただきたいがどうか。

A 新工業団地の周辺道路の整備については、企業誘致という点からも重要な条件となるため、優先度を考慮し、充実した道路アクセスの整備に努めていきたいと考えているが、全ての道路を改良することは困難であるため、庁内でしっかりと協議していきたい。

用途地域以外、周辺地域の 道路整備について

岩永 慎太郎 議員



用途地域内においては、久原く池田く沖田線や坂口く植松線などの計画道路が着々と整備されているが、これらと比較して、周辺地域の道路計画が全く見えない。今後の構想や計画はどうなっているのか。また、道路整備については、構想から計画、決定に至るまでに一連の決まりごとなどがあるのか尋ねる。

A 用途地域外の道路計画については、地区からの要望を受け、将来的に必要なと判断すれば、年度割りをして計画的に実施しているが、用途地域外全体を包括した計画はない。また、道路整備の決定に当たっては、道路の幅が狭い、緊急自動車を通れないなどの緊急性を勘案し、優先順位を決定している。

新幹線開業に伴う 諸問題解決は市長の責務だ

山北 正久 議員



新幹線長崎ルートは、与党検討委員会を中心とする6者会合において、在来線特急と新幹線を乗り継ぐ「リレー方式」の導入により、予定の2022年度に暫定開業することが合意された。開業に伴い、家屋の移転や道路等の変更で生活環境が激変する沿線住民は悲喜こもごもである。関係する諸問題の解決は市長の責務である。

A 新幹線建設に係る諸問題の解決については、市内全域の沿線を考えたとき、さまざまな住民の方がさまざまな考えをもっておられる。その一つ一つの考えをしっかりと理解し、それらの考えに對してどのような形で進めていけば合意形成が図られ、全体としていい結果につながるのかということを考慮し、十分に議論を行った上で進めていきたい。



注11…首長と教育委員会が教育行政の大綱や重点的に取り組むべき施策等について協議・調整を行う場
注12…住居、商業など市街地の大枠として土地利用を定めるもの

